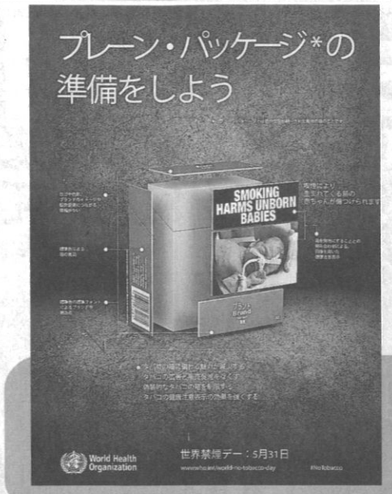
たばこなき社会 実現目指して



たばこのない社会を目指そう―。きょう31日は、世界保健機関（WHO）が各国に呼び掛ける「世界禁煙デー」。今年のテーマは「Get ready for plain packaging（プレーン・パッケージを推進しよう！）」。たばこの包装に健康被害の写真を全面に表示し警告しようという呼び掛けで、豪州などで実施効果は実証済みだ。厚生労働省も「2020年、受動喫煙のない社会を目指して～たばこの煙から子ども達をまもろう～」をテーマに、６月６日までの禁煙週間中にイベントを展開する。

■WHO「世界禁煙デー」テーマ
Get ready for plain packaging
（プレーン・パッケージを推進しよう！）

兵庫県タバコフリー協会
菌 潤会長に聞く

国際基準の規制を

兵庫県タバコフリー協会（菌潤会長）は、喫煙問題と向き合い、公共の場での喫煙についての問題提起をするなどの活動を続けている。「受動喫煙防止の国際基準では、分煙では受動喫煙防止にならない」と呼び掛ける理由について、医師でもある菌会長に話を聞いた。

◆

―受動喫煙防止の国際基準は。

たばこ規制枠組み条約（FCTC）という国際条約が定めている受動喫煙防止の国際基準では、全ての公共施設、職場、公共交通機関は、全面的に終日完全禁煙でなければならない、となっている。喫煙室設置（歯抜け）」とされ、実効性がない。日本ではまだ喫煙を特別に許す人物の設定などの許容や例外事項、喫煙を罰則付きで規制することも禁じられている。

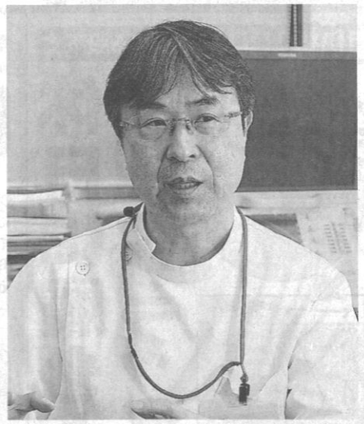
―罰則については

必ず罰則を付けて徹底する必要がある。罰則のない法律は「トゥースレス（歯抜け）」とされ、実効性がない。日本ではまだ喫煙を罰則付きで規制することを実現した法律がない。既に世界の多くの場所では解決済みの問題が、日本では置き去りにされている。

分煙は受動喫煙防止ではない

兵庫県タバコフリー協会では喫煙についての問題提起など、活発に運動している

乳腺専門医 さきたクリニック院長
先田功氏に聞く



早期発見には定期検診が重要

たばこなくしてがんリスク３割減

日本人女性がかかるがんの中で最も多い乳がん。食生活や女性のライフスタイルの変化によって増加してきたが、喫煙との関係も注目されている。喫煙ががん、特に乳がんに与える影響について、乳腺専門医の先田功氏に聞いた。

◆

―がんと喫煙の関係について。

人間の体は常に細胞分裂を繰り返して代謝している。その過程でミスが発生することがある。少々のミスは修復されるが、修復されないとDNAに傷がつき、細胞ががん化する。DNAを傷つけるものとして、たばこに含まれる有害な化学物質が挙げられる。喫煙、または流れてくるたばこの煙（受動喫煙）で、身体に取り込まれるのは毒のかたまりだ。

がんの要因は大きく3等分されていて、食生活、喫煙、そして遺伝的因子など。つまり、喫煙をやめるだけでがんの3分の1を撲滅できる。

―喫煙と乳がん発症リスクとの関係も指摘されているとか。

乳がん治療ガイドラインでは、喫煙による発症リスクの増加をほぼ確実と位置付け、さらに受動喫煙でもリスク増加の可能性があることを指摘している。禁煙が広まり、喫煙率は少しずつ低下しているが、女性や若い世代の喫煙率は低下していないのが問題だ。

女性の晩婚化や少子化など社会習慣が変化し、女性ホルモンが分泌される期間が増えて、乳がんのリスクは高くなっている。遺伝的因子など避けようがないリスク要因がある中で、禁煙だけは努力で避けられる。喫煙に害はあっても、良いことは何もない。

―日本での乳がんの現状について。

乳がんに罹患する人は年々増えているのが現状。10年前は日本人女性の22人に1人が罹患すると言われていたが、今の統計でみると12人に1人まで割合は増加している。

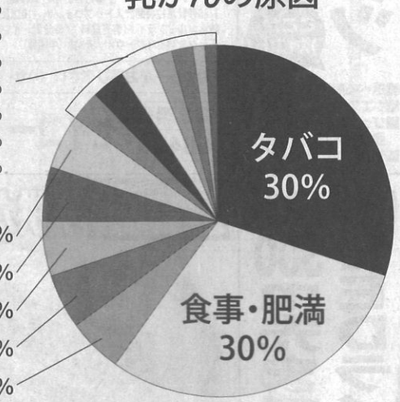
また、数が増えているだけでなく、乳がんの場合は発症のピークが40代後半から50代前半と若いのが特徴。家庭や仕事などで、中心的な役割を果たす時期に発症してしまうことになる

―乳がんの早期発見や予防には？

昨年、タレントの北斗晶さんが乳がん闘病を発表したこともあり、検診に訪れる人が増えるなど関心は高まっている。ただ、米国では受診率が8割なのに対し、日本ではまだ3割にも達していない。乳がんの早期治療成績は良いので、早期発見のためにも、定期的な検診が重要になる。

乳がんの予防も大切だ。自分が喫煙しないのはもちろん、家庭や職場での受動喫煙防止を心掛けることで、乳がんになるリスクを3割減らせることも忘れないでほしい。

乳がんの原因



（ハーバード大学のリポートから）

国の責務で

―有効な受動喫煙防止対策の効果は

既にFCTCを順守して厳格に対策を行った地域では、心筋梗塞が20%前後減少したという。例えばスコットランドでも「飲食店従業員の血中ニコチンが減少し、受動喫煙による疾患が30%減少した」など明らかな疾病予防効果のデータがある。「サービス産業の従業員の人権も、一般の事務所で働く労働者の人権と等しく尊い」という観点から、酒場を含む飲食店も完全禁煙化され、成果を上げている。その結果、医療費が下がり、生産性が上がり、メンテナンス費用が下がり、雇用者の責務も軽くなった、とWHOは2008年に結論付けている。

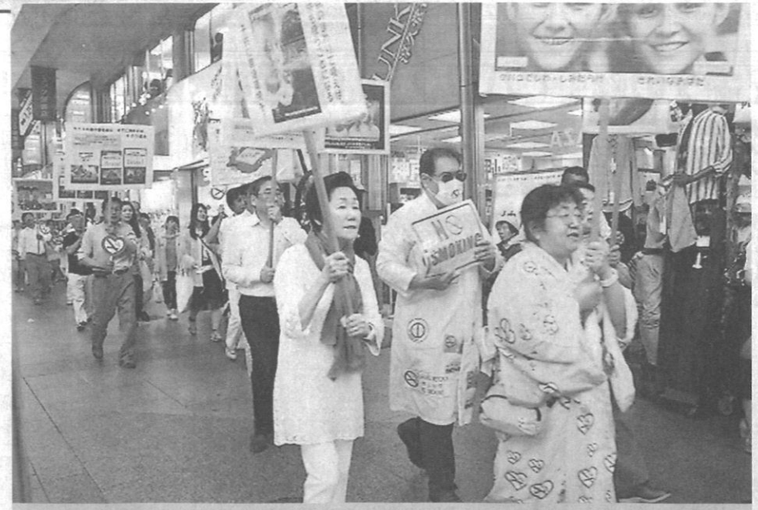
―日本ではなぜ分煙でとどまるのか

分煙は受動喫煙対策には

ならないことは、少なくとも03年のたばこ対策国際会議で明確にされていたが、日本では、盛んな分煙キャンペーンの悪影響で、分煙が解決策のように受け止められている。禁煙推進側にも、分煙はステップであるかのような認識を広める研究者がいたことも、足かせとなったと思う。分煙はステップどころか、遅延策であるというのが世界の常識だ。

―これからの受動喫煙対策は

FCTCを批准している国の責務として、国際基準の「分煙なし、例外なし、罰則あり」の喫煙規制を国のレベルで実現し、毎年日本で2万人とも言われる受動喫煙死を減らさなければいけない。20年の東京オリンピックを、その好機としたいと考える。



毎年「世界禁煙デー」に行われる禁煙啓発パレード＝神戸市中央区

「受動喫煙防止から禁煙へ！」

6月4日、神戸でフォーラム

「2016年世界禁煙フォーラム」が6月4日、神戸市中央区の兵庫県医師会館で開かれる。

今年のテーマは「受動喫煙防止から禁煙へ！」。第1部はシンポジウムで、兵庫県健康増進課副課長の稲田直彦氏、兵庫県医師会副会長の足立光平氏、兵庫県タバコフリー協会副会長の薗はじめ氏が施行後3年を経過した兵庫県の受動喫煙防止条例「2016年世界禁煙フォーラム」をテーマに意見交換する。座長は兵庫県タバコフリー協会会長の薗潤氏。第2部では兵庫医科大学公衆衛生学主任教授の島正之氏が「PM2・5の発生源としてのタバコ」をテーマに特別講演する。

参加無料、申し込み不要。兵庫県医師会☎078・231・4114

一般社団法人 兵庫県医師会
会長 川島龍一
神戸市中央区磯上通六丁目一―一
電話 〇七八(二三一)四一一四

フラワーロード服部内科
院長 服部かおる
神戸市中央区布引町三丁目一―七
神戸クリニックビル二階
電話 〇七八(二二二)五五六六

一般社団法人 尼崎市医師会
会長 黒田佳治
尼崎市南塚口町四丁目四番八号
市民健康開発センターハーティ21内
電話 〇六(六四二六)六三三三

福井クリニック
院長 福井俊彦
神戸市長田区神楽町六丁目九―一〇 小山ビル二階
電話 〇七八(六一二)〇一〇一

一般社団法人 伊丹市医師会
会長 竹中秀夫
伊丹市千僧一丁目一番地
電話 〇七二(七七五)一一一四

ふじみ内科医院
院長 藤見忠生
神戸市西区櫨野台五―四―三
電話 〇七八(九九六)〇二二一

一般社団法人 宝塚市医師会
会長 末岡悟
宝塚市小浜四丁目五―四 宝塚医療会館内
電話 〇七九七(八六)一一一四

医療法人社団 愛永会 由井クリニック
理事長 由井治郎
神戸市西区糀台五―一〇―二
西神センタービル三階
電話 〇七八(九九一)五八五八

一般社団法人 神戸市医師会
会長 置塩隆
神戸市中央区橘通四丁目一―二〇
電話 〇七八(三五一)一四一〇

神沢医院
院長 神澤正三
三木市別所町高木七四二―五
電話 〇七九四(八三)二五一〇

一般社団法人 明石市医師会
会長 長幹彦
明石市大久保町八木七四三―三三
電話 〇七八(九二〇)八七三九

東条診療所
所長 富本忍
加東市新定五五九番地一
電話 〇七九五(四六)〇〇四八

一般社団法人 高砂市医師会
会長 山名克典
高砂市高砂町朝日町二丁目一―五
電話 〇七九(四四二)〇七九四

あだち医院
院長 足立光平
加古川市東神吉町神吉一一六―一
電話 〇七九(四三二)二六六〇

一般社団法人 加古川医師会
会長 枝川潤一
加古川市加古川町篠原町一〇三―三
電話 〇七九(四二一)四三〇一

医療法人社団 増村医院
理事長 増村道雄
加東市上滝野六一三―一
電話 〇七九五(四八)〇七〇四

一般社団法人 兵庫県薬剤師会
会長 赤松路子
神戸市中央区下山手通六丁目四番三号
電話 〇七八(三四一)七五八五

一般社団法人 姫路市医師会
会長 空地顕一
姫路市西今宿三丁目七番二一号
電話 〇七九(二九五)三三〇〇

一般社団法人 たつの市・揖保郡医師会
会長 井上喜通
たつの市龍野町富永四一〇番地の二
電話 〇七九一(六三)二二〇〇

一般社団法人 兵庫県薬剤師会
会長 佐野一成
たつの市神岡町横内二六〇
電話 〇七九一(六五)一三〇一

一般社団法人 神戸市薬剤師会
会長 伊藤清彦
神戸市中央区下山手通六丁目四―三
電話 〇七八(三六六)五五九三

一般社団法人 松岡クリニック
院長 松岡亮
神崎郡福崎町西田原一二四九―一
電話 〇七九〇(二二)七八八五

菌はじめクリニック
院長 薗はじめ
豊中市曽根東町一―一―四四
電話 〇六(六八四四)五八二三

長尾クリニック
院長 長尾和宏
尼崎市昭和通七―二四―二
電話 〇六(六四一二)九〇九〇

浜辺医院
院長 浜辺茂樹
美方郡新温泉町浜坂一二六一―二
電話 〇七九六(八二)一二二四

兵庫県タバコフリー協会
(兵庫県喫煙問題研究会より改称)
会長 薗潤
尼崎市南塚口町一丁目二一番三号 石川弘一方
FAXのみ 〇六(六四一一)二九六六

ろっこう医療生活協同組合六甲道診療所
所長 谷口敏光
神戸市灘区桜口町四―五―一二
電話 〇七八(八一一)〇五五五

兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長 三浦隆則
加古川市平岡町新在家二三〇一
電話 〇七九(四二七)五一一一

(順不同)